

2 アクシデントの概要及び再発防止策

事象	アクシデントの概要	再発防止策
与薬・処方	「対象患者の誤り」	<ul style="list-style-type: none"> ・患者確認ルールの徹底 ・内服薬を準備する際に薬袋に記載してある内容(名前、用量、薬品名等)をペアでダブルチェック ・薬は、患者毎に個別容器で管理 ・薬ケース外側にも患者氏名を表示 ・ワゴン(処置台)上段には、当該処置患者以外の薬ケース等を置かない。 ・配薬時の患者氏名確認を徹底 ・注射の実施前には本人にフルネームを名乗ってもらい、生年月日を確認 ・PDAによる確認
医療機器の操作	「透析機器取扱い未習熟による処置の遅れ」	<ul style="list-style-type: none"> ・機器導入時の勉強会の開催 ・機器使用上の注意点をわかりやすく表示し注意喚起 ・機器メンテナンスの機会を捉え機器情報収集、職員への情報提供を行う。 ・研修記録の管理
手術・処置	「カテーテル等の血管内への挿入時トラブル」	<ul style="list-style-type: none"> ・カテーテル抜去後のX線透視確認 ・手術後各付属品の個数を確認 ・カテーテル挿入時は、鉗子・セッシで把持し迷入を防止 ・カテーテルに付属のインサーター(注)がシースイントロデューサー(鞘)にいていないことを指さし確認する。 <p>(注)カテーテルのイントロデューサーへの挿入を容易にするために使用</p>
	「手術時ガーゼの残存」	<ul style="list-style-type: none"> ・レントゲン撮影による体内ガーゼ遺残確認をルール化 ・手術患者退院後、外来受診時における、手術周囲観察・確認をルール化 ・ヨードホルムガーゼを使用しない
患者管理	「アレルギー患者に対するアルコール綿使用」	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー情報把握時点で、電子カルテのアレルギー歴欄に入力 ・アルコール消毒時にアレルギーの再確認